

# 被災地ボランティア派遣を再開

## 新たに宮城県南三陸町へ8名以内の2泊3日で

日遊協は3月から東日本大震災で被災した宮城県南三陸町へ支部単位でボランティア隊を派遣することになり、2月23日、各支部長宛てに「日遊協ボランティア隊募集のご案内」と題する文書と派遣要領を発信した。

南三陸町は、石巻市と気仙沼市の間に位置し、沿岸部は甚大な被害を受けたが、同町復興計画は緒に就いたばかり。同町へのボランティア派遣にあたっては、①すでに現地で活動中の社会貢献共同体ユ

ナイテッド・アースを通じた活動

②南三陸町災害ボランティアセンターを通じた活動——の2本立てを考えており、当面はユニテッド・アースを拠点とした活動を行う。

ユニテッド・アースは日遊協賛助会員の(株)ガイアシステムの関連団体で、活動内容に保育、掃除、イベント運営など、女性が参加できる作業が多い。一方、南三陸町ボランティアセンターではガレキ撤去等の肉体労働を必要としている。参加募集は支部ごとに行い、

### ボランティア派遣要領

1. 派遣日時：2012年3月～（8月は夏期休暇）
2. 日程：2泊3日（民宿泊、朝夕2食付）
3. 派遣先：宮城県南三陸町
  - ①ユニテッド・アースを通じたボランティア活動
  - ②南三陸町災害ボランティアセンターを通じた活動以上のうち当面は、ユニテッド・アースを通じた活動を行う
4. 募集人員：1班4名以上～8名以内（ユニテッド・アースのボランティア作業は、女性でも参加できる内容）
5. 集合場所：日遊協東北支部（仙台市宮城野区4-6-30第6税経ビル6F）
6. 費用等：
  - ①仙台までの交通費は各自(各社)負担
  - ②宿泊費は日遊協支部で支払い
  - ③ボランティア保険、ユニテッド・アースのアテンド料は日遊協本部支払い
7. 準備物品：
  - (1)日遊協東北支部から支給・貸与=
    - ①作業服上下、②ビブス、③防じんマスク、④ゴム手袋、⑤ヘルメット(ボランティアセンター活動の場合)このほか日遊協の借上げ車両(エルグランド8人乗り)を東北支部から渡す  
※作業服のサイズが限られているため、女性参加の場合は作業服等を各自準備、その上にビブスを着用する。
  - (2)各自の準備=
    - ①マスク、②軍手(数枚)、③雨具(かっぱ)、④洗面具、⑤タオル・着替え等、⑥ごみ袋、⑦健康保険証、⑧運転免許証※このほか南三陸町ボランティアセンターでの活動の場合は、長靴(クギ踏み抜き防止のセーフティソール含む)も必要
  - (3)ボランティア参加同意書(募集案内に添付)に署名・捺印のうえ、事前に日遊協支部に提出する

問い合わせは、日遊協総務課まで(☎03・3553・4333)

昨年と同様に、1班8名以内、2泊3日を基本に募る。

昨年は宮城県石巻市を中心に、5月から11月までに18班・189人のボランティアを派遣し、現地の方々に感謝された。

なお、昨年はボランティア参加者に日当(食費)を支払ったが、今年から支払わないことが2月20日の正副会長会議で了承された。

### 第1陣は東京都・関東支部

東京都・関東支部は宮城県南三陸町へのボランティア派遣を3月26～28日に行うことに決定、2月24日、支部会員に募集案内を出した。ボランティア活動再開の第1陣となる。

また、同支部は4月以降の年間派遣日程も決め、合わせて支部会員に通知した。

同支部の4月以降の派遣日程は次の通り。4月11～13日▽5月9～11日▽6月13～15日▽9月5～7日▽10月17～19日▽11月20～22

日▽12月5～7日。

### 「会津村子供冬祭り」が感謝

日遊協副会長らの協賛金に

福島原発事故のために福島県会津若松市の仮設住宅で避難生活している同県大熊町民(約2000人)の子どもたちを元気づけるため、「会津村子供冬祭り」(主催・宗教法人法蘭西会津別院)が2月11日、やすらぎの郷会津村で開かれ、日遊協は趣旨に賛同して副会長を中心に協賛金を呼びかけ、事前に15万円分のお菓子類を贈った。それに対して主催者からこのほど日遊協本部にお礼の手紙が届いた。

手紙によると冬祭りは好天に恵まれ、子供たちなど400人以上が参加した。雪像づくり、雪中宝探し大会、スノーライダー体験などのイベントがあり、企業、個人からの協賛賞品はイベントを楽しむ中で子供たちに配られた。「子供たちは、『どうもありがとう。楽しかった』といって帰って行きました。この一言で報われました」と主催者は手紙に書いていた。副会長協賛金とは別に、地元企業の(株)ニラク(日遊協東北支部)も同祭りを協賛した。

## 2012年度の店長等講習・試験の日程

日程	場所	
5月 9日 (水)	広島	RCC文化センター
7月 5日 (木)	福岡	FFBホール
7月 12日 (木)	札幌	ホテルエルムサッポロ
7月 26日 (木)	東京	日遊協本部会議室
10月11日 (木)	名古屋	名古屋ガーデンパレス
10月25日 (木)	東京	日遊協本部会議室
10月31日 (水)	大阪	難波市民学習センター (予定)
1月 23日 (水)	東京	日遊協本部会議室
3月 7日 (木)	東京	日遊協本部会議室

※仙台会場については別途検討

2012年度の事業計画を審議した。店長等講習・試験については、内容や難易度、研修対象者、名称などに關して、現状に即した改善策を検討していくことになった。12年度の講習・試験の日程が確定した。5月9日の広島を皮切りに7月に3か所(福岡、札幌、東京)、10月に3か所(名古屋、東京、大阪)、来年1、3月に東京でそれぞれ開催し、このほか仙台での開催を検討中——となっている。なお、本誌2月号

## 人材育成委員会

# マネカレは9月27日、28日

東京・晴海で  
理事会と運動

2月10日  
本部会議室  
出席委員等10人

の表では福岡(博多)での開催が9月27日となっていたが、7月5日に変更された。

第6回遊技産業マネジメント・カレッジは9月27、28日の2日間の日程で、東京・晴海グランドホテルでの開催がほぼ確定した。9月28日に同ホテルで予定される第3回定例理事会と連動させて、理事、役員のカレッジ参観や研修生との交流を進める計画となっている。人材育成フォーラムは日程未定だが、3回の開催が予定されている。

### 合同就職説明会も前向きに

また、合同就職説明会も実施を前向きに考えて、(株)リクルートと話し合っていくことになった。合同就職説明会は一昨年11月、東京ビッグサイトで行われた(株)リクルートの「リクナビLIVE」に、日遊協として「パチンコ業界特集」のブースを設けて参加し、2日間、約1200人の学生を集めた。今回は業界特集のブースに付属して、

会員企業が個別に学生に説明できるスペースの設置などを検討したいとしている。



新年度の事業を審議した人材育成委員会

## 社会貢献・環境対策委員会

2月10日  
本部会議室  
出席委員等16人

### 対策の義務化に注目 受動喫煙防止の法制化で

2012年度中に予想されている労働安全衛生法の改正について、事務局から説明があった。改正の柱の1つに労働者の受動喫煙防止策があり、基本的には全面禁煙又は空間分煙(喫煙室設置)が義務化されるが、飲食や娯楽施設等に関しては当分の間、一定の濃度又は換気風量の基準をクリアして、受動喫煙の程度を低減する措置が義務化される。例えば一定の濃度として「粉塵濃度0・15mg(1m以下)」が挙げられている。これによる罰則規定はないが、従業員の安全義務違反などで訴えられるケースも考えられ、企業に対して早めの対応を呼びかけている。この問題については、「改正案が通るかどうかはまだ不確定だが、その間基準の数字は業界の努力目標になる」として、同委員会としても今後注目していくことを確認した。

2012年度の事業計画を審議した。このうち、共生の森(埼玉県嵐山町)造成事業は2回の下草刈りが主体で、1回目の下草刈りを7月下旬に行う際、会員や後援団体の家族を招いての「自然学習会」を合わせて開催する計画案が出された。冒頭、2つの発表が行われた。(株)環境経営戦略総研が「パーラー業界における太陽光発電の活用について」と題して発表した。次いで、「平成23年度省エネ大賞」(財)省エネルギーセンター主催で資源エネルギー庁長官賞(省エネ事例部門)を受賞した東和産業(株)が、受賞テーマの「総合サービス企業の節電活動における水平展開」について発表した。(10ページに関連記事)

報告書案を提出  
ファンアンケート調査

2011年度の「パチンコ・パチスロファンアンケート調査（ホール来店客調査）」の報告書案が提出された。細部の手直しの後、3月15日の第6回定例理事会での承認を得て正式発表されることになった。今回は冊子化せず、日遊協会員はホームページからダウンロードできるようにする。

## 142ホール、2557人

今回の調査は昨年12月上旬から今年1月上旬までの1か月間で、日遊協ホール会員のほか都遊協青年部会、九遊連青年部会の協力を



アンケート調査の報告書案が出された遊技機健全化委員会

で行われた。全国43社142ホールから回答を得、有効回答サンプル数は2557人（1ホール平均18人）だった。遊技動向、投入金額と収支、大震災によるプレー頻度の変化や業界対応への評価、機械への要望など大筋16項目について様々な角度から分析し、お客様の目線から、今後の遊技業界のあり方の参考にしていく。ファンアンケート調査は毎年度行われ、10年度は10年7月、09年度は9年3月に行われた。

不正情報の共有のため、各委員

参加者募集スタート  
9月の皇居勤労奉仕活動

日遊協は今年も皇居勤労奉仕活動を行うことになり、2月24日、深谷会長と白石日遊協ボランティア派遣隊総隊長の連名で各支部事務所長宛に参加者募集の通知を発した。

実施時期は9月24～27日の4日間。奉仕場所は皇居及び東宮御所内。条件として、①4日間連続して従事できること②時間は午前8時から午後4時③年齢制限は特になし④服装も特に取り決めはないが、清掃活動ができる服装——となっている。希望者は3月25日までに日遊協本部に申し込む。募集人員は特に決めていない。

昨年は9、10月の2回、計36人が奉仕活動を行い、両陛下、皇太子殿下のご会釈を賜った。また、奉仕に従事しなければ見ることができない場所にも立ち入ることができた。（本誌昨年10、11月号参照）

が最近自社で発生した事件・事故などを発表し合った。遊技機開発委員会が主管する「遊技機フェスタ」（5月下旬予定）の準備の進行状況、セキュリティ対策委員会の審議状況が報告された。

## 広報委員会

2月1日  
本部会議室  
出席委員等7人

## HPの強化を検討

## 横断的な組織を生かして

2012年度の事業計画策定に向けて、パチンコ業界への広報支援策、エッセー・絵手紙コンクールなどの項目を検討した。日遊協ホームページについて、会員・業界向けの内容とは別に、業界唯一の横断的な組織としての特色を生かし、一般の人の関心を引きつけ

るような内容にリニューアルすることが1つの広報支援策となる。意見が出された。例えば、パチンコに関する情報を総合的に網羅し、各種のQ&Aにも対応することなどが挙げられた。

2月29日に締め切った「第2回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の応募状況の中間報告があった。

## 経営改革委員会

2月14日  
本部会議室  
出席委員等25人

## 危機管理手引き仕上げへ

## 3つのプロジェクトで討議

消費税、店外オンライン、危機管理の3プロジェクトチームに分かれて議論した。危機管理チームから、「企業・店舗向け地震対応マニュアル作成の手引き」が仕上げに入っており、あと具体例を加えた旨の報告があった。店外オンラインチームからは、関西の5店舗で行われているコンビニ商品を景品として提供する実験の経過が報告された。消費税チームは、ホール5団体の消費税に関する協議（3月9日予定）に向けての対応で意見交換した。

遊技機開発委員会

2月9日  
本部会議室  
出席委員等13人

テーマは「環境とパチンコ」2012

5月下旬に開催を予定している「遊技機フェスタ」について、イベントのコンセプト、会場選考の進捗状況や試作機の内容等が報告された。昨年2月に東京・墨田区のすみだ産業会館で開かれた「フェスタ2011」に続くイベントで、今回は「環境とパチンコ」をテーマに、試作遊技機や現在市場にある遊技機の試打会と、社会貢献・環境対策委員会の協力を得た環境問題への取り組みの展示を合わせて行う。

前回は初心者を含めた一般ファンを対象に1日だけ開かれたが、今回は業界関係も対象とし、一般向けと業界向けを1日ずつ、計2日間の日程が検討されている。

展示する試作機のコンプットについて、パチンコ機では店内騒音対策、節電モードの改善、大当たり中でも中座ができるような遊技者支援機能など、パチスロ機ではこれらに加えて高技術者向け機能などがそれぞれ検討されている。

さらにパチンコ班、パチスロ班

に分かれて試作機等についてのグループ討議を行った。

日遊協正副会長会議  
風営法改善など討議

専門委員会の見直しも

日遊協の正副会長会議が2月20日、日遊協本部会議室で開かれた。風営法の改善要望については、ホール5団体風営法検討会に提案するため、解釈運用基準の見直し試案が提示され、審議された。

東日本大震災被災地へのボランティア派遣は、岩手県南三陸町を対象に3月下旬から再開すること、当面、同町で活動中の社会貢献共同体ユニテッド・アースを通じて行い、ほかに同町ボランティアセンターとも随時連携していくこと等を確認した。

消費税に関して、ホール5団体での協議に先立って日遊協としての方向を話し合った。現在8つある専門委員会の見直しを話し合い、明日の遊技機創造室の遊技機開発

委員会と遊技機健全化委員会の統合、風営法検討ワーキングチームの所属などが議題に上がった。

出席者は次の通り。(敬称略)

会長 深谷友尋▽副会長 石橋保彦、石山敬達、大久保正博、兼次民喜、庄司孝輝、山田久雄▽専務理事 篠原弘志▽常務理事 伊東慎吾

3・11追悼と復興祈念  
ネオンなど終日消灯

日遊協など全国のホールで

東日本大震災発生から1年目にあたる3月11日、全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSAのホール関連5団体は、震災で亡くなられた方々を追悼し、被災地の復興を祈念して、全国のホールでのネオン・看板照明等の終日消灯を、それぞれで呼びかけた。

日遊協では2月20日に開かれた正副会長会議で終日消灯が提案され、了承された。これを受けて同月22日、深谷会長名でホール会員に向け、「東日本大震災から1年を迎えるのホールでの対応について」と題するお願い文を發した。これによると、「戦後最大の震災で亡くなられた方を悼み、被災地の復興

店頭掲示用ダウンロードポスター

当ホールは、  
平成24年3月11日(日)  
ネオン、看板等の外壁照明を  
終日消灯いたします。

東日本大震災発生から一年を過ぎることから、平成24年3月11日(日)全国のホールにおいてお亡くなりになられた方々へ哀悼の意を表すとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りするため、ネオン・看板照明等を終日消灯いたします。

告知ポスターを制作、掲示

また、お客様に消灯の趣旨を理解していただくために、店頭掲示用のポスターデザインを作成し、日遊協会員専用サイトにアップした。ポスターはホール関連5団体の連名で、「当ホールは、平成24年3月11日(日)、ネオン、看板等の外壁照明を終日消灯いたします」とし、「お亡くなりになられた方々へ哀悼の意を表すとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りするため」と続けている。

また、お客様に消灯の趣旨を理解していただくために、店頭掲示用のポスターデザインを作成し、日遊協会員専用サイトにアップした。ポスターはホール関連5団体の連名で、「当ホールは、平成24年3月11日(日)、ネオン、看板等の外壁照明を終日消灯いたします」とし、「お亡くなりになられた方々へ哀悼の意を表すとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りするため」と続けている。

# QRコード利用を協議 ICタグへの移行時まで

第59回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は2月20日、日遊協本部会議室で開かれた。闇スロ・闇パチ業者への機械流出を防止するための機歴管理の新たな仕組みづくりに関し、次世代のICタグが登場するまでの当面有効な方策として、全商協、回胴遊商が使っているQRコードを利用しての撤去遊技機掌握システムを検討した。ホールから外れパチ業者へ流出した、いわゆる行方不明の機械が年間約100万台あるといわれている。ホールが機械を外した時点でQRの端末に機械のデータを読ませ、全商協、回胴遊商を通して最終的にメーカーに送ることで、中古で流通せずにプールされている全機械のデータが把握できるというシステム。これにより、行方不明機を漸減させていけたらいいという意見が出された。しかし実際に運用するには、ホール側の全面協力が必要なため、協議を継続することになった。

（株）大一商會製のパチンコ機の不具合事案（本誌2月号既報）に関連して、不具合が出た機械の撤去と代替機の設置に迅速に対応するために、メーカー・ホールが協議したシステムづくりが必要との意見が出された。（株）大一商會は1月15日、同社製のパチンコ遊技機「CRタイタニックシリーズ、CRピンクレディーシリーズ、CR本官にまかせろシリーズ、CR真・遠山の金さんシリーズ、CRアラビアンラッシュ」の遊技機枠に搭載している下部スピーカーの温度が、特殊な条件下で規定値を超えて上昇する症状が発覚したとして、万が一に備えて当該遊技機の営業を停止す

（株）白夜書房の子会社である（株）白夜プラネットの社長らが常習賭博容疑などで逮捕されたことで、白夜書房はファン雑誌6社で構成していた「パチンコ攻略法詐欺撲滅

## 攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会

### （株）白夜書房、勧告に従い退会

#### 子会社がネット上で常習賭博

ファン雑誌連絡会」からの退会届（2月14日付）を提出、受理されたことが、同月20日のセキュリティ対策委員会で報告された。同委員会は2月7日に退会勧告書を



不明遊技機の掌握システムなどを論議したセキュリティ対策委員会

白夜書房に送付していた。また、ファン雑誌での関連記事掲載時やパチンコ・パチスロセーフティネットホームページで使われる同連絡会のロゴマークも、白夜書房の社名を外した新しいロゴに変えられたことが同対策委員会で報告された

この事件は、ネット情報販売会社の（株）白夜プラネットが08年11月から約3年間、インターネットで携帯電話用の賭博サイト「カジパラ」を開設し、男女の客15人にポーカー賭博をさせた疑い。警視庁は2月1日、同社の社長ら3人を常習賭博容疑などで逮捕した。（54ページに関連記事）

### （株）白夜プラネットは解散 情報誌4誌は3か月休刊

今回の不祥事を受けて白夜書房は（株）白夜プラネットを解散するとともに、4〜6月の3か月間、「パチンコ必勝ガイド」などパチンコ・パチスロ情報誌4誌の出版を自粛し、改めて管理体制を見直して新たなコンプライアンス体制の実施に努めるとしている。

「パチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会」は、いわゆる攻略



白夜プラネットのホームページ。会社は解散となった

法詐欺の横行に対して、攻略法販売会社の広告を掲載しないファン雑誌6社（当初は5社）によって、セキュリティ対策委員会の協力で2010年5月に立ち上げられた。各誌は同年8月号以降から約1年間、共通のロゴマークを使いながら独自のキャンペーンを展開し、攻略法詐欺への注意をファンに呼びかけた。セキュリティ対策委員会はこれらのキャンペーン記事作成に協力するため、6社に積極的な資料提供を行った。キャンペーン期間後も連絡会は存続し、各誌は随時、攻略法詐欺撲滅の記事を掲載してきた。

同対策委員会のパチンコ・パチンコセーフティーネットへの相談

アクセス数は、10年に96件だったのが、11年は27件に減少するなどキャンペーン効果が上がっていた。また、国民生活センターへの相談件数も09年度までをピークに急激に減少し、11年度は12月末現在で攻略情報などの商材関係579件（前年同期1132件）、打ち子募集などの内職関係307件（同569件）と減少している。

白夜書房の退会によりパチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会の構成5社は次の通り。（順不同）  
 株笠倉出版社▽株竹書房▽辰巳出版（株）▽株双葉社（株）ブランドピア▽株tripple a出版。

## インターネット広告協議会

### テレビCMなど強化

1月の掲載枚数は714枚

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷（株）、I M C（株）で構成）が2月3日、日遊協本部会議室で開かれ、電子チラシのポータルサイト「Shufoo!」（凸版印刷（株）運営）に昨年9月から本格掲載している新サービス「パチンコのチラシ power by Shufoo!」の1月の掲載枚数が発表された。1月は714枚で、12月より73枚減ったが、700枚

の大会は維持した。掲載枚数は昨年8月の試用期間（無料）は423枚だったが、有料化した9月に146枚に落ち、以後少しずつ回復し、12月に787枚になっていた。ホールからの問い合わせが増えており、プロモーションを強化していくことになった。

「パチンコのチラシ」への掲載広告は、同協議会で事前審査される。これまでに警告を受けた例では、背景が激しい炎の画像で災害を想起させるもの、ガイドラインのNG用語である「最強」を使ったものなどがあった。また注意を受けた例では、射幸心を煽る表現、著作権侵害などがあった。協議会では、将来的には1つの広告基準としてオンラインズされることを目指したいとしている。

また、地上デジタル放送のTOKYO MXと提携し、MXが提供しているデータ放送を活用した地域情報サービスの1機能として、エリア近辺の新着チラシがボタン操作で見られることになった。

ニールセン・ネットレイティングスによる昨年12月のインターネット利用動向調査が報告された。これによると、「Shufoo!」の訪

問者数が500万人を突破したことに伴って、「パチンコのチラシ」の開始も訪問者増加につながったと分析している。訪問者属性を男女別で見ると、「Shufoo!」トップページ、「パチンコのチラシ」ともに男性の割合が高くなっており、年代別に見ると「パチンコのチラシ」では40、50代の割合が大きかった。

## 登録資格審査委員会

### 3業者を新規登録

更新は85業者を承認

遊技機販売業者の業務の適正化を促進するための、平成23年度第3回登録資格審査委員会（委員長・深谷友尋日遊協会長。日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、全日遊連、学識経験者で構成）は2月3日、日遊協本部会議室で開かれた。新規登録申請した3業者（全商協関係2、回胴遊商関係1）を適合とした。また、更新登録申請した87業者のうち85業者（全商協関係46、回胴遊商関係39）を適合とした。更新申請した残り2業者（回胴遊商関係）については、過去1年間の販売実績が300台を満たさなかったため、今後1年間の実績を見守る「条件付き適合」とした。